

「第3学年選択教科」

開設教科

国語

社会

数学

理科

美術

音楽

保体

技家

英語

共通学習テーマ：「新庄地震学」

共通学習テーマ設定の理由

本校区は、有史以来、何度となく地震と津波の被害に遭ってきた。戦後すぐの南海沖大地震による津波の被害は、地域住民にとって痛ましい記憶として残っている。

和歌山県でも、南海地震の津波対策として、「津波防災ワークショップ」を県消防防災課の主催で行われた。このワークショップは、私たちの新庄町でも実施され、住民が中心となり地図を使った災害図上訓練などを行うなど、津波に対する避難計画を作成した。

そこで、これからの新庄を支える若い世代に、地震についての興味と知識、そしてそれに対応できる力を育てることが必要である。あるいは、地震と本地区の関連について学ぶことにより、地域アイデンティティを高めることも肝要である。

以上の理由から、選択教科として「新庄地震学」を設定したい。

なお、開設教科は9教科とし、生徒一人ひとりの興味関心に応じて教科を選択できるように配慮し、個性の伸長を図る教育を進める。

そして、生徒それぞれの学習成果を共有することによって、生活の中で生きる地震や防災に関する力を高めていきたい、また、さまざまな学習内容や方法を理解することによって、学びと「出会える」・「深められる」・「使える」力をより育てていきたい。

以上の理由から共通学習テーマを設定し、自ら学ぶ意欲をさらに喚起していきたい。

また、今年度は「防災教育チャレンジプラン・ワークショップ実行委員会」の実践発表の指定を受けている。さらに、内容を充実させて発展していきたい。

「3年選択教科：新庄地震学」の内容

国語・・・震災体験の語りや詩・俳句等を取り上げて、人々の心情や訴えている内容を探求する。

社会・・・「新庄と地震」・「新庄の地震」等の文献や地域の文化財から新庄の地震について歴史的に探求する。

数学・・・南海沖地震の発生をシュミレーションし、震源や地震規模から、新庄への津波の到達地点や規模について探求する。

理科・・・地震そのもののメカニズムについて探求する。

美術・・・地震・津波等に対する地域住民への広報活動を探求する。

音楽・・・地震発生後に、音楽が人々にどのような影響を与えるか探求する。

保体・・・地震発生時の救命行動について探求する。

技家・・・地震発生時のライフラインの獲得方法を探求する。

英語・・・外国の地震に対する危機管理パンフレットなどを、インターネットによって集め、各国の地震への備えを探求する。

※生徒は、各教科の内容を基にして発展的・系統的に調べ、まとめ、発表する。